

「コンステレーション」を感じる力

都会を離れ、
大自然の中で、夜空を見上げると、
そこには、無数の星が瞬いています。

そして、それらの無数の星の中で
ひときわ輝いて見える星々が、
美しい「星座」を形づくっています。

冬の空に輝く「オリオン座」。
夏の夜に輝く「さそり座」。

それらの「星座」には、
それぞれに興味深い「物語」があります。

「さそり座」が東の空に昇ってくる夏の季節が近づくと、
「オリオン座」は、逃げるようにして、西の地平線に消えていく。
それは、ギリシア神話の巨人オリオンが、
さそりの毒で命を落とした物語です。

しかし、この「星座」とは、不思議なもの。
なぜなら、その「星座」を形成している星々は、
実は、何十光年、何百光年も離れた場所にある恒星であり、
互いに、何の関係もない星々だからです。

しかし、夜空に、こうした「星座」を見ることが、
我々の夜のひとときを、味わい深いものにしてくれます。

そして、それは、夜空だけではありません。

一見、何の関係も無い物事の中に、
何かの「関係」を見出し、
確かな「意味」を感じとり、
大切な「物語」を読みとる。

そのことが、我々の生を、
味わい深いものにしてくれるようです。

人生の様々な出来事の中から、
「関係」や「意味」や「物語」を紡ぎだす力。

それが、心理学の分野で言われる、
「布置」を感じる力。

そして、この「星座」と「布置」。
いずれも、英語で
「コンステレーション」と呼ばれるものなのです。